学校だより

千　代　田

平成２８年１２月１４日　第１２号
http://www.chiyoda-e.kofu-ymn.ed.jp/

甲府市立千代田小学校

甲府市下帯那３０３４－２
電話：055-251-8059
FAX　：055-251-8067
発行・文責　校長　望月一夫

校内研究の紹介　主体的に学び、考える授業　わかる授業を目ざして

〈２年生〉　〈４年生〉　〈６年生〉　〈５年生〉　〈３年生〉　〈どんぐり学級〉

今、学校には、様々な個性を持った子ども達がいます。そう、多様な個性の子ども達です。また、千代田小学校の校歌には、「～いつも豊かに夢をえがいてまなぶ千代田」「～いつも楽しく心あわせてあゆむ千代田」「～いつも瞳に理想宿してすすむ千代田」という歌詞があります。子ども達は、大きな声でこの校歌を歌います。子ども達は、どんな夢を持って学んでいるのでしょうか。「こんなことができるようになりたい」「こんな人間になりたい」「こんな職業に就きたい」と、いろいろな時に思うのでしょうか。子ども達は、将来何らかの仕事をする時のために、社会の中でよりよい生活するために、多くのことを学んでおく必要があります。

自分から学ぼうとすること、自分の意思で学ぼうとすることが大切です。私達教職員は、「あれ、これどうなっているんだろう」「なぜ、そうなるの」という、知りたい、わかりたいという疑問からくる意欲を大切に、「”主体的”に学ぶ姿勢を育てたい」「自ら意欲的に”考える”気持ちを育てたい」と考えて取り組んできています。そして、子ども達の「もっとやりたい！」「もっと知りたい！」を引き出し、次の段階の学びへと成長させていきたいと考えています。

そうです･･･、学校は、学びの場です。教室には、いろいろな個性を持った子ども達が学んでいます。学習に対しても、さまざまな反応を示す子ども達が集まって、学習集団を形成しています。子ども達が、学習を進める中で、わかる喜びが味わえたら、それを楽しみに学ぶことを続けられたら、学校はどんなに心地よい場所なんだろうと思います。一人一人個性の違う子ども達に対して、私達教員には、様々なノウハウを身に付けて授業づくりを行うことが求められています。本校の教員は、子ども達の興味や関心を持続させながら教科の内容を教えるために、理解を深めさせるために、日々授業研究や教材研究に取り組んでいます。

今、本校では、「主体的に学び、考え、実践する児童の育成」を目標に年間を通し、教職員が自らの授業力の向上に取り組んでいます。10～11月には、教員で見合う授業を行い、授業が子ども達にとってわかりやすいものであるか、意欲を引き出しているか、主体的に学ぶ姿勢で取り組んでいるか、を全教職員で確認し合う「研究授業」を行いました。研究授業では、多くの教員の目で子どもの実態をとらえ、①本時の

学年	担当	教科	単元や目標	実施日
２年	内藤	生活	「うごくうごくわたしのおもちゃ」	10/12
３年	土橋	国語	「食べ物のひみつを教えます」	11/17
４年	中村	算数	「計算のやくそくを調べよう」	10/18
５年	新堀	理科	「ふりこのきまり」	11/ 9
６年	日向	家庭科	「くふうして　おいしい食事」	11/30
どんぐり学級	相山	国語	２年「かん字をただしくつかおう」	11/14
		国語	６年「漢字の知識をたくわえよう」	

授業で何を学ぶかの見通しを持てたか、②自ら学習に取り組んでいたか、③学習の深まりがあり、自ら考えていたか、④授業の最後に学習の振り返りができていたか、などを確かめます。授業後に研究会を行い、”良かったところ”、”更に工夫が必要なところ”を指摘し合うことで、より良い授業がつくられていくのだと思います。今年は、県義務教育課の指導主事、県教育センターの指導主事、市学校教育課の指導主事、市教育委員会学力向上専門員の方からも多くの指導・助言をいただき、それを日々の学習活動に生かしていくことができました。これからも子ども達に力を付けていきたいと思います。

劇団芸優座　グリムのハンスと大悪魔

10月6日(木)に、北新小学校で、劇団芸優座の演劇教室が行われました。この演劇教室は、市視聴覚教育研究会が主催し、市内の小学校22校で行われました。本校の2･3年生8名は、北新小学校と一緒に、北新小学校の体育館で演劇を観てきました。

舞台は、ヨーロッパの片隅の森に囲まれた小さな村･･･、ある日の夕暮れ時、継母はハンス少年に季節外れのキノコを採ってくるように言いました。森へ行っても見つかりません。その時、三百年も生きているもみの木の精と出会いました･･･。恐ろしい事件･･･、悪魔サンタンテックの登場･･･。

子ども達は、登場人物の上手な演技に、心が引き込まれていき、真剣な表情で劇を見つめていました。継母を助けようと、悪魔と戦うハンス、迫力ある演劇の魅力に引き込まれつつ、ちょっと怖い演劇でした。

悪魔の誘惑に乗らずに、自分の魂を悪魔から守ること、自分自身の弱さに勝つ勇気を教えてくれていました。本校の子ども達も、ハンス少年と一緒にその大切さに気付いたでしょうか。帰りのバスの中は、劇の話題で大いに盛り上がりました。

劇団四季　エルコスの祈り

１０月３１日（月）に、コラニー文化ホール大ホールで、劇団四季こころの劇場ファミリーミュージカル「エルコスの祈り」を、本校の４～６年生の１０名が観てきました。

「こころの劇場」とは、劇団四季と一般財団法人舞台芸術センターが演劇の感動を全国の子ども達に届けるプロジェクトです。

「エルコス、それは温かい心を持ったロボット。こんな美しい心に出会ったことがありますか？」エルコスの願いは、たった一つ、子ども達が素直な笑顔になれること。物語の舞台は、５０年後のユートピア学園･･･。

演劇を見る子ども達は、登場人物が繰り広げる躍動感一杯のダンスや歌に心躍らせ、子ども達一人一人の個性を引き出していくロボット「エルリック・コスモス」、通称「エルコス」の優しさに引き込まれていきました。仲間の大切さ、人を思いやる素晴らしさを伝えてくれていました。登場人物と一緒に「語りかけよう」を歌う子ども達の表情は、楽しさと明るさに溢れていました。

学校の環境･･･技能員の鷹野さんに支えられています!!

今年度から千代田小で勤務している技能員の鷹野義知さんは、いつも校舎内の色々なところで仕事をしています。学校の中の環境で、気付いたところを気付いた時にと、必要な材料や道具をそろえて、計画的に作業を進めていると聞きました。紹介をしますと、校地内のタイルが破損しているのに気付き、モルタルで子ども達がけがをしないように補修をしていました。校舎裏の落ち葉清掃、校庭の落ち葉集めや落ち葉掃き、校庭や校地内の草取り。松の剪定や植木の剪定、落ちてきそうな枝の伐採など、職人技です。子ども達は、気付いていたでしょうか。子ども達が野菜を植える前の”土作り”、野菜が育っている時の草取り･･･暑い夏も良くやっていました。門の下のネット張り、校庭西側の山の斜面へのネット設置など、動物被害に遭わないように対応してくれました。また、家庭科室の調理台の水道管からの水漏れも、次の日には材料をそろえ調理台の下にもぐり修理してくれました。写真がなくて残念です。給食前には、テーブルや配膳台を1人で用意しています。毎日、給食の途中で市役所に向かいますが、食べ終わると、まだ食べている子ども達から「行ってらっしゃい!!」と送り出されます。いつも笑顔の鷹野さん、本当にありがとうございます。今回は、なかなかその活躍が目立たず、目立たないところで一生懸命に働く、鷹野さんの紹介でした。

〈草刈り〉

〈破損タイルの補修〉

〈焼き芋の火の管理〉

〈落ち葉集め〉

〈落ち葉掃除〉

〈門の下ネット設置〉

〈山側へネット設置〉